

# 報 告

## 信州大学繊維学部 第 10 回 ホームカミングデー2017

繊維学部 第 10 回ホームカミングデー2017「お帰りなさい。そして、ようこそ、信州大学 繊維学部へ！」が、繊維学部と同窓会「千曲会」の共催で 2017 年 10 月 7 日（土）に開催されました。参加者数は 138 名（卒業生 41 名／在学生 4 名／在学生保護者 41 名／同伴者 43 名／教員 OB 6 名／その他 3 名）でした。耐震補強工事が終了した繊維学部講堂を会場として開催されました。千曲会大学院生代議員の番場なるみさんと山岸由紀子さんが総合司会を勤めました。

### 【歓迎挨拶】

冒頭に下坂誠学部長と白井汪芳理事長の歓迎挨拶があり、繊維学部の近況や同窓会の活動についてお話いただきました。



下坂学部長の歓迎挨拶



白井理事長の歓迎挨拶

### 【卒業生講演会】

千曲会大学院生代議員 齋藤淳一さんの座長で、繊維学部卒業生（学工 30 回卒）である、ダイワボウレーヨン株式会社取締役社長の福嶋一成氏に「繊維産業は、まだまだ成長産業だ！」と題して、ご講演いただきました。

福嶋一成氏は、1982 年繊維学部をご卒業後、大和紡績株式会社第一事業本部国際開発部部长、ダイワボウレーヨン株式会社専務取締役、大和紡績株式会社取締役を歴任なさり、現在はダイワボウホールディングス株式会社執行役員兼ダイワボウレーヨン株式会社取締役社長として、日本の繊維産業を牽引なさっていらっしゃる福嶋氏に、繊維産業に対する思いと繊維産業の将来についてお話いただきました。

日本国内の繊維産業は「斜陽産業」のイメージがあるかもしれませんが、繊維産業は将来性豊かな成長産業であることを、数多くの事例を基にご説明いただき、繊維分野の教育と研究に携わっている私共にとりましても、認識を新たにする良い機会となりました。



福嶋一成氏による卒業生講演会

## 【研究成果講演会】

繊維学部研究企画室長 村上泰教授の座長で、繊維学部機械・ロボット学科の橋本稔教授に「ロボティックウェア Curara® New Model の開発と展望」と題して、ご講演いただきました。「自分の足でもう一度歩きたい」という、疾病や障害などのハンディキャップを有する人向けの「着る」ロボティックウェア」として実用化間近の生活動作支援ロボットについて、手作り感満載の1号機から、9月に発表された最新4号機までの機能と性能を、解りやすくご説明いただきました。機能と性能とデザインの発展に驚かされ、数年後の商品化が待ち遠しく感じられました。



橋本教授の研究成果講演会

## 【アトラクション】

講演会終了後、講堂前広場で、青木村義民太鼓保存会の和太鼓演奏が行われました。江戸時代、上田地域では百姓一揆が多く起こりました。死を覚悟で農民の生活を守るために藩主に直訴し処刑された義民が各地区で祭られ、その功績を後世に伝えるため「義民太鼓」がつけられました。義民の不屈の闘志を感じさせる凛々しい演奏でした。



青木村義民太鼓の演奏

## 【ウェルカムパーティー】

下坂学部長の挨拶と白井理事長の乾杯の後、和やかな雰囲気の中、パーティーが行われました。生協の小谷店長から生協と学生生活の関わりなどについての説明もありました。サラダバーには、繊維学部キャンパス内に設置された植物工場で栽培された野菜が供されました。繊維学部生協スタッフのご協力に感謝申し上げます。



ウェルカムパーティ風景

## 【保護者交流会&キャンパスツアー】

午後は学科・コース別の保護者交流会とキャンパスツアーが行われました。保護者交流会では、カリキュラムや進路に関する個別相談などが行われ、繊維学部の教育研究の実情を深くご理解いただきました。保護者の方たちからは「繊維学部は学生のケアが充実している」「研究教育の範囲の広さに驚かされた」などのご感想をいただきました。

学生ツアーガイドの引率によるキャンパスツアーでは、資料館、講堂、研究成果展（TEXPO）などの見学をしていただきました。



キャンパスツアー風景

**【予告】** 第11回ホームカミングデー2018は、**2018年10月6日（土）**に開催予定です。

**（第10回ホームカミングデー2017 実行委員会）**